

## 新潮文庫

# ガブリエル・ガルシア＝マルケス 百年の孤独

読み解き支援キット

## 池澤 夏樹 監修



本キットは池澤夏樹氏の著書『ブッキッシュな世界像』（白水社）や『世界文学を読みほくースタンダードルからピンチョンまでー』（新潮選書）に収録され、『百年の孤独』の文庫化に際して再編集したものです。ゴシック体で示したページ数は新潮文庫版のものです。
**物語の結末が記されていますのでご注意ください。**（ ）内は池澤氏が便宜的に登場人物に割り当てた識別子または注です。（新潮文庫編集部）

© Natsuki Ikezawa. All Rights Reserved.

### マコンド 〈百年の歴史実話・抄〉—豚のしっぽがやってくるまで—

**9** アウレリャノ・ブエンディア〔大佐〕、銃殺隊を前に、氷を見た日を思う。

**9** 「マコンドも当時は……小さな村だった」〔つまりホセ・アルカディオ・ブエンディアの若かった当時〕まだものに名前がなく、いちいち指さしていた。メルキアデスたちが毎年三月に来る。——文明の利器1「磁石」。

**11** 甲冑の出土。

**11** ジブシー再び来る。文明の利器2「望遠鏡とレンズ」。

**12** 発明家としてのホセ・アルカディオ・ブエンディア〔最初の者〕……「何時間も部屋にこもって」。「当時はまだ首府への旅行はほとんど不可能な状態」。

**13** 文明の利器3「天文学」。

**15** 文明の利器4「錬金術」。メルキアデス、速やかに老いこむ。

**17** 錬金術の詳細。金貨の喪失とウルストラ〔家刀自〕の嘆き。

**19** メルキアデス、若返る。義歯。外の世界には不思議があるというホセ・アルカディオ〔最初の者〕のいらだち。マコンドの孤立。

**20** マコンド前史。若き族長としてのホセ・アルカディオ〔最初の者〕。軍鶏の禁止。ウルストラの勤勉。小鳥の過剰。世界の不思議を見たいというホセ・アルカディオ〔最初の者〕の願望。

**22** 若いころの彼と仲間の旅〔第一の旅〕。二年四カ月にわたる旅。その結果の、帰途の労をはぶくためのマコンド建設〔この時まで彼

等は「温和なインディオの集落」〔**36**〕にいた〕。東の山脈のむこうにリオアチャがある。

**23** 文明世界との接触を求めて北へ向かう〔第二の旅〕。数週間。

**26** 『わしらは……科学の恩恵にもあずからずに、ここで、このまま朽ち果てることになりそうだ』。マコンドを他の地へ移すというホセ・アルカディオ〔最初の者〕の計画。

**26** それに反対するウルストラの決意。ふたりの子供、ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕とアウレリャノ〔大佐〕。父の彼等に対する教育。

**31** 新手のジブシー来る。『メルキアデスは死んだよ』。氷を見る。『こいつは、近来にない大発明だ！』。

**35** マコンド前史。十六世紀、ウルストラ〔家刀自〕の曾祖母のやけど〔リオアチャ〕。彼女の悪夢。それから逃れるために夫〔スペイン・アラゴン出身の商人〕は「山あいに位置する温和なインディオの集落」に移り住む。ここに「ドン・ホセ・アルカディオ・ブエンディア」という新大陸生まれのタバコ栽培業者〕がいた。その子孫であるいとこ同士の結婚。何百年も前から血をまじえてきた両家の間の結婚に対する不安。その先例。豚のしっぽの子供。

**37** ホセ・アルカディオ〔最初の者〕とウルストラの結婚。帆布のズボンの処女妻。闘鶏とブルデンシオ・アギラルの殺害。ウルストラとホセ・アルカディオの交合。ブルデンシオの幽霊。

**41** 村を出る。二年近い旅〔第一の旅〕の果てにマコンドを創立する。

**43** 鏡の壁の家の夢——これが氷を初めて見た時に思いだされる。

**44** ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕の巨根。「口は悪いが男好きのする商売女」ピラル・テルネラとホセ・アルカディオ〔性の英雄〕の情交。アウレリャノ〔大佐〕から見た兄の情事。

**52** アマランタ〔黒い縋帯〕が一月のある木曜日の午前二時に誕生する。

**53** ジブシーたちと空飛ぶ絨毯。ピラルの妊娠。

**56** ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕、ジブシーの娘と寝る。二日後ジブシーと共に村から消える。

**58** ウルストラ、息子を探しにゆく。さまざまの異常事。五カ月後にウルストラが帰る。文明への道を彼女はみつけた。

**63** ピラル・テルネラ、ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕の男子を生む。ブエンディア家に引き取られ、アルカディオ〔若き暴君〕と呼ばれる。ピンタシオンと弟、アルカディオを育てる。マコンドが繁栄する。ホセ・アルカディオ〔最初の者〕は錬金術を休み、指導者、都市計画者として活躍する。ウルストラ〔家刀自〕の飴細工。

**68** レベーカー〔もらわれっ子〕が来る。荷物は衣類、揺り椅子、両親の遺骨の入った信玄袋。鳴る骨。土と石灰を喰う。やがてこれも治療され、「ブエンディアの名にふさわしい人間」になっていった。

**72** レベーカーの不眠症にピンタシオンが気付く。弟、カタウレの逃亡。幻覚に満ちた覚醒状態。病気は町中に広がる。「きんぬき鶏」の話。記憶の喪失。すべての物に名札をつける〔辞書的な世界〕。メルキアデスが帰ってくる。文明の利器5「写真術」。

**83** アウレリャノ〔大佐〕、腕のよい金細工師になる。まだ女を知らず。火事を出したために祖母の命令で春をひさぐ娘がくる。アウレリャノの恋〔この娘の名がエレンディアであることをわれわれは別の物語から知っている〕。翌日、娘は去る。

**88** レベーカーとアマランタ〔黒い縋帯〕、美しく成長する。家の繁栄。「低地のどこにもない、住みごちがよく涼しげな家が、ほとんど誰も気づかないうちに出来あがっていった」。

**91** 町長、ドン・アポリナル・モスコテが来る。ホセ・アルカディオ〔最初の者〕は一度彼を追い返す。モスコテは妻と七人の娘を連れて戻る。『あんたとわしは……かたき同士なんだ』。アウレリャノ〔大佐〕、レメディオス〔乙女妻〕を見初める。

**97** 新居披露のパーティ。自動ピアノを買う。ピエトロ・クレスピがピアノとともに来る。パーティに呼ばれたのはマコンド建設の旅をとともにした者とその子孫のみ。ホセ・アルカディオ〔最初の者〕はピアノを分解してしまう。ピエトロ・クレスピが再び来る。レベーカー〔もらわれっ子〕の恋。アンパロが恋文を運ぶ。

**104** アウレリャノ〔大佐〕のレメディオス〔乙女妻〕への恋。彼は金の魚を造っている〔この時メルキアデスは羊皮紙に何か書いている〕。レベーカーとアウレリャノは共に錯乱する。アウレリャノ、ピラル・テルネラと寝て、恋のことを話す。

**111** アマランタ〔黒い縋帯〕もピエトロ・クレスピに恋をしていることが明らかになる。アウレリャノ〔大佐〕、レメディオスに求婚。

**114** メルキアデス、川で死す。

**118** アマランタ、ピエトロ・クレスピに恋を告白。相手にされないのでレベーカーとの結婚を邪魔しようと決意する。

**124** ピラル・テルネラ、アウレリャノ〔大佐〕の子を孕む。

**124** ホセ・アルカディオ〔最初の者〕、ブルデンシオの幽霊に会う。ホセ・アルカディオの発狂。栗の木に縛られる。

**129** アウレリャノ〔大佐〕とレメディオス〔乙女妻〕の結婚。ニコノル・レイナ神父。それに先立つレメディオスの初潮。レメディオス「強い責任感、つくりものでない愛嬌、落ち着いた自制心」。ピエトロ・クレスピに届いた母危篤の手紙。彼とレベーカー〔もらわれっ子〕の結婚の延期。

**132** ニカノル・レイナ神父、マコンドに信仰を植えつける。チョコレートによる浮揚術と教会建設基金の徴募。神父とホセ・アルカディオ〔最初の者〕がラテン語で語りあう。神の銀板写真と神父の信仰の危機。

**136** レベーカーたちの結婚の延期。アマランタ〔黒い縋帯〕のあせり、毒殺の夢。アウレリャノ・ホセ〔暗殺〕をレメディオスが育てる。レメディオスの死。一年間の喪と結婚の延期。——永遠の婚約状態。

**143** ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕の帰還。全身の刺青。性的英雄の証明。冒険譚。レベーカーの彼への恋。「耐えがたい苦痛のなかの想像を絶する愉悅」。レベーカーとホセ・アルカディオの結婚。墓地の真正面の小さな家。「町じゅうの人間の夢をやぶるよがり声」。

**153** 選挙。その欺瞞を見たアウレリャノ〔大佐〕の政治への目覚め。自由主義者アリリオ・ノゲーラ医師。彼のアウレリャノ評——『あれは行動家としては落第だ、消極的で孤独癖が強すぎる』。戦争の開始。戒厳令。ノゲーラ医師の銃殺。沈黙の恐怖。アウレリャノの蜂起。アウレリャノ・ブエンディア大佐の誕生。

**163** 革命の要約。アウレリャノ大佐の三十二回の反乱と敗北。十七人の子供。十四回の暗殺と七十三回の伏兵攻撃と一回の銃殺刑を生き延びる。最後には「全土を支配する革命軍総司令官」——これだけでほぼ二十年。

**164** その途中、ビクトリオ・メディーナ將軍と合流するために出発する際、マコンドをアルカディオ〔若き暴君〕にまかせる。アルカディオの若き暴君ぶり。ドン・モスコテを処刑せんとしてウルストラ〔家刀自〕に叱られる。ウルストラ、町を支配する。

**169** アマランタ〔黒い縋帯〕とピエトロ・クレスピの穏やかな恋と幸福。「華やかな過去をしるばせるのは廃墟の猫だけという古い都があり、子供じみた言葉をしゃべる美しい男女が住んでいる、第二の母国」。ピエトロ・クレスピの商売の繁昌。楽器、オルゴールの類。弟ブルーノ・クレスピ。

**172** 『死んでもあなたと結婚なんかしないわよ』。ピエトロ・クレスピの自殺。アマランタ自らの手を焼く。黒い縋帯。

**175** アルカディオ〔若き暴君〕の寂しき幼年。ピラル・テルネラへの接近。ピラルは彼にサンタ・ソフィア・デ・ラ・ピエダ〔主婦〕を与える。「いるのかいないのか、わからないような女」。ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕とアルカディオ〔若き暴君〕の結託。経済的横暴。家を建てる。

**182** グレゴリオ・スティーヴンソン大佐の到着、自由党の敗北。政府軍の攻撃。

**187** アルカディオ〔若き暴君〕の処刑。

**191** 戦闘の終了。アウレリャノ〔大佐〕の逮捕。その刑の執行のためマコンドに来る。ウルストラ〔家刀自〕との再会。リンパ腺。彼の詩。マグニフィコ・ビズバル大佐の死。氷のイメージ。ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕による救出。脱出。ビクトリオ・メディーナ將軍を

救うためにリオアチャへ行く〔アルカディオが暴君になるのはこの間〕。

**206** アウレリャノ〔大佐〕、マコンドへ凱旋。アルカディオ〔すでに処刑〕の三人の子、レメディオス〔小町娘〕とふたごのホセ・アルカディオ・セグンド〔スト指導者〕、アウレリャノ・セグンド〔くじ売り〕をアマランタ〔黒い縋帯〕が養育している。

**207** ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕とレベーカー〔もらわれっ子〕、アルカディオ〔若き暴君〕の新築の家に住む。ホセ・アルカディオ〔性の英雄〕の自殺〔マコンドで真実がついに明らかにされなかった不思議な出来事〕。ウルストラのところまで届く血の流れ。強烈な火薬の臭い。レベーカーの蟄居。

**211** 事実上の自由党の敗北とアウレリャノ〔大佐〕の憂鬱。彼に対する毒殺計画。

**215** ヘリネルド・マルケス大佐のアマランタへの恋。『追っかけ回さなきゃならないほど男に飢えてはいないわ』。「顔を見たくてたまらないくせに、必死にこらえて男の前には姿をあらわさなかった」。

**219** ホセ・アルカディオ〔最初の者〕の老衰。ブルデンシオ・アギラルとのみ語る。カタウレが『王様の埋葬に立ち会うため』戻る。彼の死。小さな黄色い花が降る。

**223** アウレリャノ・ホセ〔暗殺〕とアマランタ〔黒い縋帯〕の性的火遊び。彼女は「うらわびしい、危険な、先のない情熱に溺れようとしていることに気づい」た。

**226** 和平への動きと最後の戦闘。ピンタシオンの死。アウレリャノ〔大佐〕の死の報知とその否定。ホセ・ラケル・モンカダ將軍の平和的町政。マコンド、市になる。繁栄。ブルーノ・クレスピの芝居小屋。小町娘のレメディオス。

**232** アウレリャノ・ホセ〔暗殺〕が戻る。アマランタへの恋慕。決定的拒否。

**236** アウレリャノ〔大佐〕の十七人の息子たちがマコンドへ来る。

**240** アウレリャノ・ホセ〔暗殺〕の放蕩。ピラル・テルネラの家。彼の暗殺と速やかな報復。

**245** アウレリャノ〔大佐〕マコンドを攻撃、占領。彼の非情と三メートルのチョークで描いた輪。レベーカー〔もらわれっ子〕に会う。モンカダ將軍の処刑。『あんたは、わが国の歴史はじまって以来の横暴かつ残忍な独裁者になる』。

**254** ヘリネルド・マルケス大佐とアマランタ〔黒い縋帯〕。恋のゆきちがい。最終的な拒否。「そのあと、彼女はひとり寝室にこもり、死が訪れるまで続くにちがいないわびしい日々を思って泣いた」。

**257** アウレリャノ〔大佐〕がまたマコンドに戻る。「絶大な権力にとまなう孤独のなかで、彼は進むべき道を見失いはじめていた」。和平の条件〔大地主・教会との妥協、庶子の権利の放棄〕。マルケス大佐の反逆。死刑宣告。『いまいましいこの戦争の片をつける手伝いをしてくれ』。

**268** アウレリャノ〔大佐〕の真の帰宅。すべてに対する彼の無関心。身辺の整理。

**276** 〔ネールランディア〕停戦協定の調印。アウレリャノ〔大佐〕の自殺未遂。その失敗のいきさつ。声望の回復。

**282** 家の中に光がさしこむ。レメディオス〔小町娘〕の美貌、最初の犠牲者。

**285** アウレリャノ・セグンド〔くじ売り〕の最初の子。その命名、ホセ・アルカディオ〔神学生〕。前の年に迎えたアウレリャノ・セグンドの妻フェルナンダ・デル＝カルピオ〔女王〕。ウルストラ〔家刀自〕の感慨、二つの名にまつわる性格〔ふたごだけがその枠を越えている〕。ふたごの混同。

**287** ホセ・アルカディオ・セグンド〔スト指導者〕、銃殺を見たがる。アウレリャノ・セグンド、メルキアデスの実験室に入る。草稿の解読をはじめる。メルキアデスの幽霊。

**291** ホセ・アルカディオ・セグンド、神父にならんとする。『どうやらぼくは、根っから保守的な人間らしいんですよ』。

裏面に続く▶

